



学校だより

～学校評価特集号～

令和元年度 第7号
令和2年3月10日発行
香川県立聾学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。
アンケートへのご協力ありがとうございました。



各部の評価

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
幼稚園	一人一人に応じた コミュニケーションの基礎の 力を育てる (コミュニケーション意欲) (個に応じた手段) (教員の専門性の向上)	○個に応じた手段を使い、他者と楽しく関わる時間や活動を多く取り入れたところ、関わりを楽しむ姿が増え、自分なりに思いを表現することが多くなった。 ○経験の長い教員の指導場面に同席し、直接学べるようにしたり研修等で得た知識を共有したりできるようにし、教員の意識や技能の向上に結び付いた。	・コミュニケーションの基礎の力を育てるために、子どもの気持ちを尊重しながら、個に応じた働きかけを行う。 ・五感を使った保育活動を創意工夫し、豊かな経験やコミュニケーションの意欲につなげる。
	できることを増やし 自分なりに頑張ろうとする 気持ちを育てる	○五感を取り入れた保育活動を工夫したり「できる」をめざした細かい目標を設定したりして褒める機会を多く作るようにした。その結果、子どもの意欲が高まり、様々な活動に主体的に関わり、苦手なことにもチャレンジしようとする様子が見られた。	・教員の専門性の向上を図るため校内外の研修を活用するとともに、部内での研修内容を工夫する。

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
小学部	言語活動の充実と コミュニケーションの拡充	○学級編成を工夫し、子ども同士の意識が育ち、やりとりの拡充につながっている。 ○話し合い活動や交流及び共同学習など、様々なコミュニケーションの機会を設定し、進めている。	・言語活動の充実と様々なコミュニケーションの拡充を目指す。
	日本語文法指導の推進	○月に一度の部内研をもち、情報交換を行ったり、他グループの学習状況を参観したりした。 ○言葉ノートの家庭との連携については、進んだところとそうでないところがあった。	・見て分かる日本語文法の指導の推進と指導方法の継承を図る。
	進路学習のあり方と その実施	○小学部段階でのキャリア教育について、内容を精選し、まとめた。 ○部主事懇談会や各懇談会などで、その内容を周知し、取り組みを周知した。	・小学部段階で必要なキャリア教育の取組と、保護者への周知を行う。

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
中学部	学力の向上（生徒一人一人の実態に応じた学力の向上）	○研究授業、討議などを通して、授業改善等について話し合いを行った。 ○それぞれの生徒の実態に合った指導方法が工夫され、保護者からは「学力が身についた」という感想があり、生徒からは「学習が楽しい」という意見が多かったものの、「質問しにくい」という意見もあった。	・一人一人の実態をしっかり把握し、教員同士で指導方針の共通認識をもち、生徒に分かりやすい学習指導方法を工夫改善する。
	コミュニケーション能力の向上（読話指導、語彙の拡充）	○帰りの会の前の時間を使って、音声を伴った言語表現の聞き取りをしたり、外部の方とのコミュニケーションをとる機会を設けたりした。 ○障害が配慮されない場合の対応についても理解し、考えて対処できつつある。	・それぞれに合った方法で、相手に分かりやすく伝える力を伸ばし、伝わらない、理解できない場合に対処する力を育てる。
	生きる力・自立の力の育成（職場体験学習、交流及び共同学習）	○体験的な学習を通して、自分に足りない部分を目標に掲げて実際の場で意識的に取り組むことができた。それぞれの生徒が充実した成果を得ることができた。 ○様々な職業について学ぶとともに、実際の仕事を体験する良い機会となった。	・進路指導部との連携を密にし、保護者へ進路に関する適切な情報提供を行うとともに、体験的な学習等を通して自立の力を育む。

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
高等部	一人一人に応じた学習内容を設定し、進路目標の実現を図る	○各3年生が希望する進路先を決定することができた。 ○概ね、一人一人に応じた学習内容を設定し指導ができたと思われるが、大学進学を希望する生徒への取り組みについては検討を要する。	・一人一人の進路目標の実現を図るために、個に応じた学習内容や指導方法を検討する。
	活発なコミュニケーションの場を設け、望ましい対人関係の構築を図る	○高等部の共通課題として指導を行った。 ○保護者から「根気強く対応していただき、コミュニケーション力がついてきたと感じる」というご意見もあったが、今後も継続して指導していく必要があると感じる。	・引き続き、コミュニケーション力の向上のために、高等部全体で取組を行う。次年度は、場面に応じたコミュニケーションの使い分け、マナー、情報保障を依頼する力等、実践力を付けるための指導を行う。
	部活動等による自主的な活動を推進する	○授業以外の活動として活発に取り組むことができ、生涯学習・スポーツにつながる意欲や態度を育てることができた。 ○保護者から、予定表の配布時期について等のご意見があった。	・部活動や各種検定試験の受験、体験的な活動への参加を促す。

